



☆「QRコード」を読み取って追加☆



「きずな」の定期配布
「きずな」は、市政や市議会など身近な情報を提供する地域情報紙をめぐっています。定期的な配布(無償) 希望の方は連絡を下さい。

2026年6月21日(日)

発行 日本共産党井上かつひろ事務所

薩摩川内市樋脇町塔之原 10439

TEL 38-0237 携帯 080-3996-0237

国の方針に従って病床ベッド削減

420床から350床へ 約70床削減の試算

薩摩川内市は、市議会生活福祉委員会で「地域医療体制検討基礎調査結果概要」を報告しました。川内市医師会立市民病院と済生会川内病院について、現在の420床から、将来的に約350床が適正とする試算が示されました。約70床の削減につながる内容です。

人口減少や医療従事者不足を理由に、国が進める「地域医療構想」。

薩摩川内市でも、市民病院と済生会川内病院の病床削減・再編が検討されています。

討課題が上がっています。日本共産党は、命を守る地域医療を後退させる病床削減に反対し、医師・看護師確保と公的支援の強化を求めます。

背景に国の「地域医療構想」

この調査は、川内市

市が支援情報を公表

大雨被害

6月24日の大雨により、薩摩川内市内で住宅の床上浸水26棟、床下浸水103棟、一部・軽微な破損4棟、非住家の被害38棟が確認されています。市は、被災された方への支援として、市営住宅・県営住宅への入居支援、災害ボランティアセンターによる片付け支援、災害ごみの回収、浸水地域の消毒、り災証明書の発行などを行っています。被害を受けた方、支援が必要な方は、早め

に市へ相談してください。また、日本共産党の井上勝博市議も相談を受け付けています。080(3996)0237へお気軽にお問合せ下さい。詳しい支援内容や最新情報は、薩摩川内市ホームページをご確認ください。



写真は大雨で被害をうけて乗用車(=6月24日、平佐町)



医師会が外部コンサルタントに依頼し、市も調査費の一部を助成したものです。

調査では、人口減少、患者数の減少、医療従事者不足、両病院の赤字、施設の老朽化などが課題として示されました。そのうえで、将来の適正病床数を急性期250床、回復期100床、合計350床と試算しています。

必要なのは削減でなく支援

日本共産党は、人口減少を口実にした病床削減に反対しています。コロナ禍でも明らかになったように、いざという時に必要なのは、

余裕のある医療体制です。救急医療、周産期医療、感染症対応、災害時医療を守るためにも、地域の病床を減らすの

こちらしの相談所
(No. 655)
携帯 080-3996-0237 (井上)
なんでもご相談ください。

側溝に草木が詰まり浸水の危険→市へ早急な対応を要望
入来町副田のグリーンビレッジにお住まいのNさんから、「大雨の後

住宅地沿いの側溝に草木や流木が大量に詰まり、このままでは再び大雨が降った際に住宅地が冠水するのではないか」との相談が寄せられました。現地を確認したところ、側溝内には草木や土砂が堆積し、水の流れが妨げられている状況でした。排水機能が十分に発揮できない状態であり、大雨時には水があふれる危険性があります。井上勝博市議は、グ



グリーンビレッジ北側の市道沿いにある側溝(地図の赤線部分)について、市に対し、草木や流木、土砂の早急な撤去と排水機能の回復を要望しました。また、同様の被害を防ぐため、定期的な点検・維持管理についても併せて求めています。

背景にあるのは、国が進める「地域医療構想」です。人口減少を理由に、病院の機能分担や再編を進めるものですが、実際には全国各地で病床削減、病院統廃合の圧力となっています。

市民参加で地域医療を守れ

両病院は、赤字や老朽化、医師確保など深刻な課題を抱えています。しかし、その解決策を「ベッドを減らすこと」に求めれば、市民の命を守る地域医療は後退しかねません。日本共産党は、市民に十分な情報を公開し、住民参加で議論を進めることを求めます。国

言いなりの病床削減で

必要です。

は、薩摩川内市で安心して医療を受けられる体制を守り抜くことが必要です。

対話で平和を築く道を学ぼう

日本共産党薩摩西部地区委員会主催の「日本は戦争する国になるのかーあなたの未来は、誰が決めるのかー」をテーマにしたつどいが6月28日に開かれ、約30人が参加しました。



「つどい」のようす(川内市) 6月28日(日) 薩摩

松崎真琴党県書記長・元県議は電子紙芝居を使い、「高市政権は大軍拡を進め、戦争する国づくりを進めている」と指摘。一方、ASEAN諸国は対話を重ねて平和を築いてきたことを紹介し、「武力ではなく外

交と対話こそ平和への道」と訴えました。参加者からは、「高市政権は中国を刺激しすぎているのではないか」「若者に平和への願いをどう伝えればよいか」などの感想や質問が出されました。

エプロンおばさんの簡単クッキング (709)



ヒジキと大豆の煮物

【材料 (2～3人分)】

芽ヒジキ (乾燥) 10g、大豆水煮缶 1缶
ちくわ 2本、砂糖・薄口しょうゆ・酒 各大さじ1、水1カップ

作り方

- ① ヒジキを洗い、水で5分戻す。
- ② ヒジキと大豆をさっとゆでて水気を切る。
- ③ 輪切りにしたちくわと調味料、水を加え、中火で10分煮る。
- ④ 火を止めて10分蒸らし、味をなじませたら完成。

No. 77 シネマ太郎の映画評と案内 急に具合が悪くなる (2026年)



急に具合が悪くなる



シラート

世界三大映画祭 (カンヌ、ベネチア、ベルリン) のすべてと、アカデミー賞国際長編映画賞など、これまで数々の受賞を受けている濱口竜介監督の新作です。前作「悪は存在しない」など、変わった題名が多い印象ですが、今回は同名の原作をもとに映画化。フランス・パリの、主に認知症患者を介護する施設で介護の指導者の立場にあるマリー・ルー (ヴィルジニー・エフィラ) は、自身の経験から、介護の方針に強い信念を持っています。それはユマニチュードという相手の感情を尊重するケアの技法。しかし彼女は、施設の運営や職員との軋轢に、もどかしさを抱えているのです。そんな時、ある出来事がきっかけで、パリの小劇場で演劇を演出する森崎真理 (岡本多緒) と知り合います。真理は末期がんの状態にあり、余命宣告を受けていることをマリーに告げます。そして交わされていくふたりの会話。文化人類学を学び、日本に留学経験のあるマリー、フランスの大学で哲学を学んだ真理。フランス語、日本語、ときには英語で、資本主義について、労働について、少子高齢化について、倫理について、死について、語り合います。圧倒されるところもありますが、深く、真摯なふたりの会話に引き込まれます。映画の中で、ある演劇が演じられます。ひとり芝居を俳優、清宮吾朗 (長塚京三) が演じているのですが、この演劇が、この映画の核心に触れているのです。久しぶりに映画で長塚京三をみて、肉体的な衰えは隠せませんが、とても素晴らしい。人と人が、ほんとうに分かり合えるということ。それは、つきあいの長

さとか、親密さの度合いではないんだと、この映画をみて思います。6月21日付け赤旗日曜版で濱口監督がふたりの女性の関係性について語っています。「人間同士がこんなふうに出会うことができるのかと思いましたが、名付けようのない関係性で、そういう関係性が存在すると知るだけで世の中にも希望が持てる気がしました」。ふたりの女優はカンヌ映画祭の最優秀女優賞を受賞 (岡本多緒は日本人初の受賞)。3時間17分。終わっても、まだこの映画の空気に触れていたかと思えました。天文館シネマパラダイス、HOEO 与次郎シネマス、シネマサンシャイン始良で上映中。気になる次の映画は、「シラート」(9/8) 天文館シネマパラダイスです。

中俣先生のつれづれなるままに (839)



←中俣先生のブログはこちら

辺野古沖転覆事故で、同志社国際高校の女子高生が亡くなったことは痛ましいことだが、これによって、平和教育への攻撃が激しさを増すのではと危惧していた。が、22日の文科省の教育基本法に反するという見解は、まさにその通りとなった。私は現職のころ、新聞の記事を使いながら、イラク戦争について子どもたちと学習をしていたとき、「イラク戦争には賛成の人もいるわけだから」と校長から指導を受けた。まさに教育に関する不当な介入である。私はすぐさま、先生は戦争に賛成ですかと反論したが、校長はそれに対して一言も答えなかった。今もそうだろうが、そのときは隙あらばと、平和教育への弾圧を文科省 (当時文部省) は狙っていたのだ。冬休み、夏休みの友への攻撃も、長崎、広島先生方による8.6、8.9登校もそうだ。鹿児島でも出校日を8月1日、21日に限定せず、6日なり9日にして、原爆被爆者に学ぶべきではという当然の主張を弾圧したのである。まさに今回の転覆事故を、鬼の首を取ったかのようにならざるを得ない。高市一強内閣の平和教育への弾圧は、これからも激しさを増すであろう。それはまさに、憲法改悪へと紛れもなくつながっている。さきずなは憲法改悪反対の到来や川内の行動を記事にしていたが、本当に励まされた。足がないので思うまま動けないが、こうした行動を、私は心から支持し励ました。弾圧にめげず、高市退陣までみなさんとがんばりたいのだ。(詩愛好家)